

令和8年度 特別会計予算

議案第23号 国民健康保険特別会計

14億5,979万円

○主な歳入

国民健康保険税

2億2,773万円

財政調整基金繰入金

2,664万円

○主な歳出

保険給付費

10億8,966万円

国民健康保険事業費納付

3億3,121万円

保健事業費

2,493万円

議案第24号 後期高齢者医療特別会計

2億3,669万円

○主な歳入

後期高齢者医療保険料

1億8,552万円

繰入金

4,966万円

○主な歳出

後期高齢者医療広域連合

2億3,168万円

議案第25号 介護保険特別会計

13億2,399万円

○主な歳入

保険料

2億8,949万円

国庫支出金

2億5,004万円

支払基金交付金

3億4,478万円

県支出金

1億9,661万円

繰入金

2億4,043万円

○主な歳出

保険給付費

12億5,107万円

地域支援事業費

3,769万円

議案第26号 関口茂八翁奨学事業特別会計

2,356万円

令和8年度 事業会計予算

議案第27号 水道事業会計

収益的収入

3億8,475万円

収益的支出

3億5,591万円

資本的収入

2,799万円

資本的支出

1億8,647万円

○主な歳入

高料金対策補助金

7,000万円

物価高騰対策水道料金減

免分補助金

2,500万円

議案第28号 浄化槽事業会計

収益的収入

1億6,114万円

収益的支出

1億5,231万円

資本的収入

1,065万円

資本的支出

4,483万円

歳入の主な質疑

◆政策財政課・税務会計課

○ 今後は、財産の売払い、ふるさと納税及び寄附金による歳入財源の確保も行っていくべきではないか。

○ 本町は財政収入力に乏しいため、財政調整基金や合併振興基金等を取り崩して予算を編成している現状である。今後は、基金等に頼らない財政体制にしてい

くべきと考えている。

○ 町民法人税の減及び固定資産税の増の要因は、

○ 町民法人税の減は、物価材料費の高騰及び人件費の増加による減額。

○ 固定資産税の増は、新築の家屋を約30棟見込んでいたため。また、償却資産で、大型機械の入替が2社で750万円ほどあったため。

歳出の主な質疑

◆総務課

○ 旧社会福祉協議会事務所及び書庫構造調査及び構造計算業務委託が計上されている理由は、

○ 令和5年度、改修面積が総壁面積の2分の1以下の改修工事であるため建築確認の必要はないと判断し実施した。しかし、改修面積に疑義が生じたため、埼玉県建築安全センターへ相談したところ、2分の1以上であるため建築確認が必要であるとの指摘を受けた。建築当初の構造計算書は残

存しておらず、新たに構造調査と構造計算を行う必要が生じたため。

○ 消防団員の研修費補助とコロナ禍で中止していた消防団員家族研修の再開のための費用。

○ 防災無線管理事業の保守点検委託の増額理由及び固定系屋外拡声子局老朽化調査の内容は、

○ 保守点検委託料の増額は、令和7年度、弓立山基地局の更新に伴い例年の2回の点検から1回の点検であったのに対し、令和8年度は通常通り2回の点検を行うため。

○ 固定系屋外拡声子局老朽化調査は、子局83局が設置から10年が経過し、保守点検の期間を超過しており、補修工事の優先度を確認するため、83局全て調査するもの。

◆政策財政課

○ 本町のDX化推進につ

いて、1年間どのような取り組みを行っていくのか。

○ バックヤード改革として、これまで導入してきたシステムを使用した事務効率の改善、職員向けのAI研修に取り組む。

○ フロントヤード改革として、公式LINEの開設(乗合タクシーの予約やデジタル定期券の販売を今後予定)。

○ 地域のDX推進による町の賑わい創出として、観光施設においてスマホから予約及び支払いができるシステムの導入を検討している。

○ 「総合振興計画」を策定するにあたり、住民アンケートや区長等に対して実施したアンケートを活用する予定はあるのか。また、シンプルな計画にできないのか。

○ 令和7年度に実施した住民アンケート及び区長等に対して実施したアンケートについて分析して活用する予定。計画については、町全体の10年間の方針を定める計画なので、住民に分かりやすい計画を策定して

いく。

◆町民健康課

○ アピランス支援事業費補助金の内容は、

○ ウィッグや乳房補正具等の購入費用に対する補助額は見込んでおり、補助限度額はそれぞれ1万円である。

○ 予防費が減額になっている。PRの方法も含め、アプリの活用や外部の意見を取り入れていく必要があるのではないか。

○ 令和8年度に予定している計画策定の中で、町民の方や団体の代表の方などの意見を取り入れていく。アプリの活用については本年度からALROOマイレージを導入した。アンケートなどもスマホから回答できるように工夫をした。

◆福祉課

○ 児童遊園地遊具修繕工事の具体的な内容は、

○ 令和7年度に実施した安全点検で指摘された8か所の遊具について修繕を行

うものである。施工場所は、二本木児童遊園地、根際児童遊園地、原地区児童遊園地、田黒児童遊園地、小倉児童遊園地、六区文化会館児童遊園地、五明第一分館児童遊園地、桃木児童遊園地の遊具で、経年劣化等による修繕である。



田黒児童遊園地

○ 新設の乳児等通園支援事業の内容は、

○ 保護者の就労の有無や理由を問わず、生後6か月から満3歳未満までの保育所等に通っていない子どもを対象に、1人あたり月10時間まで保育所等を利用できる制度。令和8年度から全国的に開始。

○ 農林水産業者の所得向上・生産物の付加価値向上に直接結びつく施策が少な

い印象がある。

○ 生産時期・品目の集中、中間的な保存・保管機能の欠如、販路の課題など、農業・林業の持続性に向けた長期的な計画が不足していると感じるが、次世代に繋げるための具体的な計画策定と、その計画に基づく予

算措置の考えは、

○ 農業者支援補助金については、昨年より増額している。農業・林業者の所得向上のためには、県との連携や農林振興センターを活用しながら支援策を検討し、担い手育成を近々の課題として取り組んでいく。

○ 「山椒プロジェクト事業」の概要は、

○ 「総合振興計画」に基づき農産物の特産化を進めるもので、収量調査から始め商品開発、販売実証実験を実施し、法人化を目指し、事業展開をしていく。

○ 「ぶらっと、ときがわ」のリニューアル業務委託について、リニューアルの内容は、

○ 若年層をターゲットに現在のニーズに合わせた内容へ更新するとともに、町内に店舗が増加していることなどから、ときがわ町の最新情報を届けられるようにリニューアルするものである。